



# 比枝神社紹介

今津町の氏神であり、だんじりがある比枝神社は鶴見区今津中五丁目に位置し、宮司は林久貴様が務めておられます。もともと、だんじり小屋は比枝神社敷地外にあったが先々

代宮司様のときに神社内に小屋を建てていただき、平成十九年先代小澤宮司様並びに総代会のご厚意により改装していただいた。

神社本歴によると「創建年代は不詳なれど、延宝（千六百八十年）虎申歳九月天照皇大神を奉納す。本殿は安永五年（千七百七十六年）に建立され元禄四年（忠臣蔵として語り継がれている有名な討ち入りがあった十一年前のことである）九月近江国坂本に鎮座の日吉大社の御分霊を勧請し泰り山王権現と称す。今津には上の宮、中の宮、下の宮の三社ありしも明治の初めに上下式社を合祀し明治二年十一月比枝神社と改称す。」とあり現在の神社名になっている（一部比枝神社厩より抜粋）。現在の宮司であられる林宮司様は若さをふるに活用されて精力的に神社業、地域活動に参画されておられ、地車保存会としても非常にお世話になっております。昨年末には林宮司様および総代会のご厚意によりだんじり小屋に保存会の紋を入れさせていただきます、年末年始にはライトアップして大変好評でありました。



比枝神社